

ゼミ番号		研究テーマ		H NO. 氏名		評価者
評価の基準	目標到達度			3年生		
				2年生		
	基準と徴候	1年生				
		高校入学時に概ね生徒が到達していると思われるレベル	高校1年終了時に到達が望まれるレベル	高校2年終了時に到達が望まれるレベル(目標)	探究活動終了時に到達が望まれるレベル	高校生の中でも極めて高い実力があると考えられるレベル
		探究活動の質において、大幅な改善を必要とするレベル	探究活動の質において、やや改善を必要とするレベル	探究活動の質において、満足できるレベル	探究活動の質において、十分に満足できるレベル	探究活動の質において、特別に優れているレベル
		探究の手順がわからず、探究活動を進められない	探究の手順の概略を意識し、探究活動を行っている	探究の手順を理解し、探究活動を行っている	探究の手順や一連の流れを理解し、探究活動を行っている	探究の手順や一連の流れを理解し、発展性のある探究活動を行っている
教員が多くの支援を行って初めて探究活動を行える		教員の支援で、探究活動を行える	教員の支援で、自ら考えて探究活動を行える	教員の支援で、自ら省察して探究活動を行える	教員の最小限の支援で、自ら調整して探究活動を行える	
観点 \ Lv.		1	2	3	4	5
課題発見力 仮説設定力	I 課題と仮説の設定	研究の意義を見出せず、問いを出せない ・問題意識が乏しく、課題・仮説を立てられない ・思いつきや表面的な発想から課題を設定している	研究に漠然とした意義づけができ、問いを立てられる ・漠然とした発想から、課題を設定している ・課題が絞りきれず、仮説が曖昧なままである	研究の意義を意識して、問いや仮説を明確に設定している ・発想や着眼点が良く、課題意識につながっている ・解決する課題が明確である ・課題に対する仮説を適切に表現している	研究の学術的・社会的価値を意識して、実行可能な問いや仮説を立てている ・発想や着眼点が良く、学術的・社会的な課題意識を持っている ・課題や仮説を的確に表現している ・実行可能な課題や仮説を設定している	既存の枠組みを問い、実行・検証可能な問いや仮説を立てている ・発想や着眼点が優れており、学術的・社会的な課題意識を持っている ・先行研究を踏まえて、課題の意義や妥当性をとらえている ・検証可能な課題や仮説を設定している
	II 研究の計画・実施	具体的な計画がなく実施が困難である ・手順がわからず、計画に不備がある ・実験環境の制約や、研究に必要な条件を考慮していない ・先行研究を踏まえていない	具体的な計画を立てている ・目的を明確化している ・実験環境の制約や、研究に必要な条件等をあまり考慮していない ・先行研究を考慮している	実施可能な計画を立てている ・実験環境の制約の中で、妥当な計画を立てて実施している ・研究に必要な条件や再現可能な検証法を考慮している ・先行研究を踏まえている	適切な計画を立てて実施している ・適切な複数回の実験計画を立てて実施している ・実験環境の制約の中で、研究に必要な条件等を意識している ・条件統制や測定の精度を意識している	適切な計画を立てて自立して実施している ・高校生として独創的な方法を考えて研究を行い、再現可能な検証法を考えている ・必要な知識や情報を自ら習得し、計画を修正しながら次の実践に向っている
読み解く力 (読解力)	III データの解釈 (データ処理)	得られた情報をまとめていない ・データの処理方法がわからない ・適切なグラフや図表を選択できない ・グラフや表に不備がある	得られた情報を示している ・データを分析・判断し、グラフや図表などを用いて表わそうという ・目的に合わせてデータを示しているが、分析・判断が不十分である	得られた情報を目的に合わせて整理している ・データを適切なグラフや図表などにまとめている ・データの着目点に留意し、分析・判断をしている	得られた情報を精査して解釈している ・複数のデータを分析・判断し、適切なグラフや図表などにまとめている ・実験の条件や測定の精度を意識し、データの妥当性を検討している	得られた情報を精査した上で解釈し、目的に応じて用いている ・複数のデータを適切に分析・判断し、適切なグラフや図表などで表している ・データを厳密に検証して、多角的に妥当性を検証している
	IV 論理の構成	論理的な考察ができていない ・根拠と主張の結びつきや解釈に、誤りや飛躍がある ・主張が主観的で、信頼性に欠けている	根拠や論理的な考察が不十分である ・考察をしているが一面的である ・根拠から飛躍した考察がなされている	論理的な考察がなされている ・研究結果に基づいて、概ね客観的な考察をしている ・主張とそれを裏付ける証拠を挙げている	論理的な考察を行い、適切な結論を出している ・研究の結果に基づいて、客観的な考察を行っている ・裏付けとなる証拠を選び、適切な主張を行っている ・課題に合った結論に至っている	多面的で論理的な考察を行い、課題との整合性のある結論を出している ・主張を裏付ける証拠を精選し、適切な考察に基づく優れた主張を行っている ・先行研究との関連付けや、発展的要素を含んでいる
表現力	V 研究成果の発表	研究内容や聴き手の意図を理解していない ・必要な要素を選べず、研究の概要を羅列している ・聴き手を意識していない ・質問の意図をつかめず、適切に答えられない	研究内容や聴き手の意図の理解が不十分である ・必要な要素が不足しており、研究の概要が伝わりにくい ・聴き手への応答が不十分である ・質問の意図をつかむが、適切に答えられない	研究内容や聴き手の意図をとらえている ・必要な要素が十分に含まれ、研究の概要を説明している ・聴き手を意識してわかりやすく説明している ・質問に対して適切に答えている	研究内容の要点をとらえ、聴き手に適切に対応している ・必要な要素を取捨選択し、研究成果を的確に説明している ・聴き手を意識した工夫がある ・質疑応答でも双方向のコミュニケーションが成立している	研究内容の要点をとらえ、聴き手と意見を交わして、研究に還元している ・必要な要素を精選し、研究成果を確実に伝えている ・聴き手をひきつけて、論拠をもとに意見を交わしている ・他者の意見を受けて、自らの考察・結論を再検討し改善を図っている
探究活動における生徒の特徴と生徒への支援内容						
仮説設定報告会			中間発表会	最終発表会		
2024年改訂						